



## みのやま病院ディケアセンター

感謝

2026年2月号

## 【参加型季節装飾について】

いつもみのやま病院ディケアセンターをご利用頂きありがとうございます。昨年より新たな取り組みとして、利用者さん参加型のフロア季節装飾を始めました。

参加型の季節装飾とは、スタッフだけでなく利用者さんも参加していただき、みんなでディケアフロアの装飾を行う取り組みです。ご協力をいたいた利用者さんには、大変感謝申し上げます。

当ディケアは、自立度が高く、自由に外の活動を楽しめる方だけではなく、屋内での活動が中心の方も多くいらっしゃいます。そのような方でも、ディケアに来られる時に、①季節の変化を感じてもらえること。②自らもそこに参加して変化を楽しめること。そして、③ディケアに行くことが一つの楽しみになること。この三つを主としたものとして取り組みを考えました。初めは書面だけでの案内で、あまりに参加者が少なければ、スタッフから積極的に声掛けを行うつもりでしたが、驚くことに早々に参加していただける利用者さんがとても多く、折り紙や、趣味の編み物作品などを持参してくださいました。利用者さんからは「自分の作ったものを飾ってくれて嬉しい」「ディカ華やかになって良い」とポジティブな意見を多くいただきました。これからも楽しい取り組みを考えていきます。

今年も宜しくお願ひ致します。

ありがとう  
ございました

## 村中・岡島のよっこら通信

旧暦の新年(大晦日)に邪気を払うための”追儺(ついな)”という儀式が起源とされており、本来は季節の節目(立春・立夏・立秋・立冬)の前日を表す言葉とされます。

○なぜ豆をまくのか?

○人間の命を支える五穀(米・麦・粟・黍・豆)の中でも一番大きく、力強いと考えていたから

○マメをまく↓魔目(まめ)を滅ぼす、魔(ま)を滅(め)する

○なぜ炒り豆を使うのか?

○豆を炒る↓魔の目を射(い)る、巻いた豆から芽が出るのは縁起が悪いため炒り豆を使う

○なぜ豆まきに枠を使うのか?

○枠(ます)を使う↓ますます力が増す

他にも節分に自分の年齢+1粒の豆を食べるのは、来年の無病息災や長寿を願うためだったり、ワタナベさんは平安時代の武将”渡辺綱”が鬼を退治したことで恐れられているから豆まきをしなくてもよかつたり、苗字に”鬼”が含まれる方々やお寺では豆まきはするものの、「鬼は外」とは言わないとか。

ちなみにことわざの”来年の話をすると鬼が笑う”は本来、将来のことは予測できないから、あれこれ計画したり断定的な話をしても意味がない、という意味が一般的ですが、中には来年の準備をきちんとされてしまうと節分の準備も整ってしまうから、それを恐れた鬼が笑つて妨害しようとしているのではないか、といふ解釈もあるそうですよ。

## 【節分の豆知識（マメだけに）】